

たすけあい名古屋

通信第132号

介護保険の行方

介護保険法は基本的に3年ごとに改訂され、次回の改訂は2018年に施行の予定です。改訂の大きな流れは、団塊世代が後期高齢者となる2025年に備えた保険制度維持と地域包括ケアシステム推進の為の改訂です。

とはいえ、保険給付の対象者が激増する、保険給付財源が増えない、高齢化に伴い認知症が増える、と介護保険制度を維持していくには厳しい条件ばかりです。加えて政府の唱える「一億総活躍社会」での各施策（介護者の賃金レベルの是正）によって、たすけあい名古屋のような介護事業所は非常に厳しい経営状況に追いやられることが予想されます。

では、2018年の改訂で、介護保険を利用される立場の方々にはどのようなことが考えられるのでしょうか？

1. 中重度者への重点配分：要支援1・2の方は、新しい総合事業・生活支援サービス利用へと移行することになります。要約すると、保険料の負担が増え、介護度の高い要介護3～5の方へのサービスは継続していくが、介護度の低い要支援1・2の比較のお元気な方は、市町村が所管する新しい総合事業の生活支援サービスを利用してください、ということです。
2. 応能負担：所得レベルに応じて費用を負担することになります。従来の1割負担、2割負担に加え、所得に応じ3割負担となる人が出てきます。
3. 総報酬割：保険料は、第2号被保険者（40～64才）の若い世代も負担していますが、所得レベルの高い現役層、雇用主には保険料の増加と負担が大きくなります。特別養護老人ホームのような公的な介護施設の利用は原則要介護3以上の重度の方に限定されることになります。それぞれの方が望むような支援サービスを受けるには、介護保険外の自費負担での支援サービスの利用をしなくてはなりません。
4. 地域共生社会：これまでの社会保障制度は基本的に縦割りの制度でした。

・高齢者福祉 ・障がい者支援 ・子育て支援

これらを地域の核として、地域共生社会をつくり、地域包括ケアシステムに組み込んでいこうというのがこの新たな提案です。そうすることにより施設、介護スタッフを共有し、元気な高齢者に障がい者や子供の世話をしてもらい、全体的に福祉システムの効率を向上させることにより、将来の介護人材不足、給付原資不足等に備えようというものです。

この新しい地域包括ケアシステムを根付かせて行くためには、地域の人々が、地域のために、地域の人と協働する関係を作ることが必要です。

（代表 西川 達夫）



✿ マスクのお話



マスクって、どんな効果があるの？
そんな質問にお答えします。



- ウィルスや細菌
風邪は、ウィルスや細菌に感染することによって発症します。インフルエンザは、インフルエンザウィルスが原因です。ウィルスや細菌は1年中空気中に存在しています。しかし、これらは冷たくて乾いた空気を好むため冬に多く発症します。
- マスクは細菌やウィルスをまき散らさない
マスクはガーゼや不織布でできているので、細菌やウィルスはその網目よりも小さいので感染は防げません。しかし、細菌やウィルスは唾液や鼻水と一緒に飛び散ります。マスクをしていれば唾液や鼻水は飛び散らないため、他の人に感染しにくくなります。
- マスクをつけると風邪が発症しにくくなる
風邪の原因となる細菌やウィルス、さらにインフルエンザウィルスも冷たくて乾いた空気を好みます。マスクをしていると呼吸に含まれている湿気で鼻や喉の粘膜の湿度が保たれ、暖気も逃げにくくなります。そのため、細菌やウィルスが繁殖しにくく、風邪も予防できます。
- マスクをしていると美容にも効果的
肌の乾燥を防ぐためには、保湿効果のある乳液が効果的ですが、暖房の効いたところではどうしても乾燥してしまいます。マスクをしていると呼吸の湿気で肌が保湿されますので、マスクをしない時より肌の乾燥を防げます。
- マスクについて
マスクをつけるときは、顔のカーブに合わせて密着させ、しっかり鼻までおおいましょう。また、マスクは使い捨てで、外出から帰ったら玄関先で外して捨てましょう。マスクには細菌やウィルスがついています。
- 口呼吸をしない
マスクをしていてもできるだけ口呼吸をしないで鼻から空気を吸って、湿気の含んだ空気を肺に送り込むため鼻呼吸をしましょう。



(けあプラン鳴子 梅村 千春〈看護師〉)
※注…インターネット抜粋あり

デイサービス鳴子だより



節分豆まきゲーム



発声練習

春が待ち遠しかった2月。
遠くへ飛ばすには？と紙の丸め方を工夫した節分豆まきゲーム。場面の雰囲気どうり、間を取り声色を変えながら読まれた昔話の紙芝居。どんな風に出来るか、ときどきわくわくされていた雛菓子作り。

そして、新しい試みとして「アイウエオで笑いの発声練習」を取り入れました。笑いには心身ともに健康に効果があると言われていて、ソファミレド等の音階に合わせ、アッハハハなど笑い声をお腹から出すのですが、美しい声もお腹に力を入れ声を出す腹式呼吸で歌います。腹筋と表情筋を沢山使って、皆さん、声も表情も増々アップして、いつの間にか春も少しずつ近づいてきたようです。

(デイサービス鳴子 村上 雅代)



紙芝居

障がい者総合支援だより

2月2日、3日の節分の日。赤鬼さんと青鬼さんがプレイルールの窓をたたきながらやって来て、子供たちは豆まきを行いました。怖がって隠れている子、何があっても動かない子、勇敢に立ち向かって行く子、一生懸命に鬼に豆を投げている子、豆を受け取ると投げずに食べてしまった子など様々な微笑ましい様子が見られました。子どもたちの豆まきのおかげで鬼さん退散・・・(^◇^)

これで一年何事もなく楽しく過ごせますね！

(児童デイ かるむ 平元 弘美)



節分豆まき

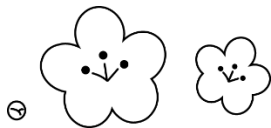
ご寄付のお願い

いつも「たすけあい名古屋」の活動にご理解ご協力を頂きありがとうございます。さて、平成25年に名古屋市より認定NPO認証を受けましたが、認定証の有効期間は5年間であり、今年度末(29年3月)迄の寄付状況をもって、更新申請が必要となります。

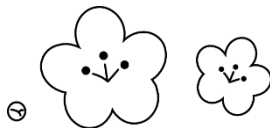
「たすけあい名古屋」は皆様からお寄せ頂いたご寄付を、地域の福祉向上の為に役立てています。国や名古屋市など行政の支援の手の届かないところに対する地域高齢者の健康維持・向上に向けてのグラウンドゴルフ倶楽部、健康体操教室、卓球クラブ、スポーツ吹矢教室等の開催、および福祉有償運送・暮らし助け合い活動など、採算性の低い事業への補助として活用させて頂いています。

初回申請時と同じく、温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

(担当：長田、黒木)



天白福社会館だより



庭園の樹木剪定を実施し、春の準備整う！

— 3月30日午前「桜の花見会」開催 —

名古屋市シルバー人材センターの樹木選定技術の研修会場として、今年も天白福社会館の庭園が選ばれ、2月7日(火)9時～16時まで指導者、係員と実習者合わせて20名の方が参加し、庭園内の木々の剪定を行いました。恒例の身体ほぐしの体操の後、お手本の技術を学習しながら、庭園内の種々の木々を剪定しました。おかげで木々が形を整え、春を迎える準備が出来ました。



樹木剪定技術会場 天白福社会館にて

今年は児童館と共催し3月30日(木)10時～12時の間、【桜の花見会】を催します。尺八とお琴の演奏会も同時に行いますので、是非お出かけください。(館長 篠田 宏明)

トピックス

なごやかモデル報告会 (2月12日)

鳴子団地に拠点を置く、名古屋市立大学コミュニティ・ヘルスケア教育研究(CHC)センターが、平成25年度にオープンし約3年経過しました。当初の文部科学省の助成期間も残すところ1年余となり、活動報告会が2月12日に名古屋市立大学病院と鳴子のCHCセンターをTV会議システムで結び開催されました。名市大の郡学長より、文科省助成完了後も本取り組みを継続するとの力強い表明もありました。



CHC前

なごやかモデルの学生さんには、おひさまカフェや、年末の餅つき大会の参加、医療系学生のCHCセンターを拠点とした、高齢者とのふれあい、地域住民とのふれあい等、大学キャンパスでは学ぶことのできない貴重な経験をしてもらっています。

報告会では鳴子住人および、CHCセンター開設から関わっている「たすけあい名古屋」にも発言の場を設けていただきました。



活動報告会

(代表理事 西川達夫)

ホームページをご覧ください

たすけあい名古屋 検索



特定非営利活動法人 (認定NPO法人) たすけあい名古屋

代表理事 西川 達夫

〒458-0041 名古屋市緑区鳴子町四丁目13番地 愛知県住宅供給公社鳴子第1住宅

TEL 052-899-0833 FAX 052-899-0800

E メールアドレス : info@tasukeainagoya.com